

第1 平成15年度決算の状況

1 決算のあらまし

本県の平成15年度当初予算は、施策の厳しい優先度判断による歳出の見直しを徹底して行うとともに、厳しい経済情勢、雇用情勢を踏まえた骨格予算として編成し、一般会計予算の前年度当初予算との比較では、対前年度比7.6%の減となりました。

このような中、6月補正予算では、新価値創造予算事業について、予算計上するほか、緊急雇用創出基金を活用して行う雇用創出事業の追加や重症急性呼吸器症候群（SARS）対策、「県民しあわせプラン」の策定などに伴い、所要の予算措置を講じました。また、9月補正予算等では、三重ごみ燃料貯蔵槽事故関連経費など、新たに実施が必要となった事業や国庫支出金の額の確定に伴い事業費に増減が生じた事業などについて、それぞれ所要の措置を講じました。

その結果、平成15年度決算の状況について、一般会計、特別会計及び企業会計ごとに収支状況をみますと、表1のとおり、一般会計における決算は、歳入は、前年度に比べて6.4%減の約7,326億円、歳出は、前年度に比べ5.9%減の約7,176億円となりました。このため、歳入と歳出の差引額である形式収支は、150億円の黒字となり、形式収支から翌年度に繰越すべき財源、約84億円を差し引いた実質収支は、約66億円の黒字となっています。

また、特別会計では、歳入は前年度に比べ9.0%増の約423億円、歳出は前年度に比べ12.5%増の約356億円となり、形式収支は約67億円の黒字、実質収支は約51億円の黒字となっています。

次に、企業会計の決算は、収益的収支における収入は、前年度に比べ2.0%減の約440億円、支出は前年度に比べ4.7%減の約420億円となり、差引額は約20億円となっています。資本的収支における収入は、前年度に比べ6.7%減の約92億円、支出は前年度に比べ6.3%減の約223億円となり、差引額はマイナス約132億円となっています。

なお、各会計ごとの過去からの決算の推移については、巻末資料1を、また一般会計と特別会計における実質収支額の推移については巻末資料2をご覧ください。

表1 3会計決算収支状況

(単位：千円、%)

	一 般 会 計					特 別 会 計				
	歳 入		歳 出		差引額 A - B	歳 入		歳 出		差引額 A - B
	決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率		決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率	
平成14年度	783,052,221	△5.1	762,608,997	△4.5	20,443,224	38,760,860	△12.2	31,641,836	△14.6	7,119,024
平成15年度	732,609,263	△6.4	717,631,245	△5.9	14,978,019	42,268,160	9.0	35,584,450	12.5	6,683,710

	企業会計（収益的収支）					企業会計（資本的収支）				
	収 入		支 出		差引額 A - B	収 入		支 出		差引額 A - B
	決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率		決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率	
平成14年度	44,877,424	△1.4	44,085,665	1.7	791,759	9,808,895	△36.6	23,844,128	△8.6	△14,035,233
平成15年度	43,962,327	△2.0	42,012,162	△4.7	1,950,165	9,155,796	△6.7	22,335,399	△6.3	△13,179,603

(注) マイナスを「△」印で表示し、以下、同様に表示します。

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)